



平成 25 年 12 月 1 日号

社会福祉法人 緑峯会 特別養護老人ホーム セントポーリア愛の郷



すみれ台秋祭りと文化発表会—音楽療法士の出番の季節が来た—

大変嬉しいことに、毎年 10 月から 11 月にかけて我々音楽療法士にとって出番の多い月となっています。

さる 10 月 27 日(日)、昨年に続いてすみれ台秋祭りに出演させていただきました。すみれ台自治会の岡田会長、細川副会長他多くの方々にお世話になり、また当日はお集まりいただきましたすみれ台の方々から暖かい拍手を頂戴しました。感謝申し上げます。さて、今回我々が演奏したのは、映画『風立ちぬ』・『となりのトトロ』・『魔女の宅急便』のジブリ映画の主題歌をはじめ、秋の抒情歌三曲メドレー、最後はグレンミラーの「IN THE MOOD」で締めました。今年は練習にかなりの時間を割き、ギター之音に特有の音響を効かせたり、コード進行をアレンジするなど工夫を凝らしました。僅か 40 分足らずの公演でしたが、すみれ台の皆様と交流できたことは幸せでした。

続いて、11 月 3 日(日)、今年度ご家族参加の最後の行事となった【文化発表会】があり、半年間にわたる療法の成果をお見せる音楽療法発表会を行いました。出演いただいたご入居者の皆様で使用してもらった楽器はトーンチャイムとミュージックベルですが、『美女と野獣』では、メロディーパートと和音パートに分かれていたにもかかわらず、クリアーするなど、練習風景を見学に来ていた音楽療法士を目指す学生がその成果に驚きを隠せないようでした。本番では会場は立ち見の方が出ると一杯になり、8 名の出演者全員やや緊張の面持ちでしたが、曲が進むにつれて見事な演奏を披露されました。<音楽療法士 中原大輔>



〜〜災害対策と BCP〜〜

特に今年は台風の影響等、自然災害による痛ましい事故が続いています。いつ何時襲ってくるかわからない災害にどう対応するかは、私たち高齢者介護福祉施設の大きな課題です。災害時のリスクマネジメントでは自施設のご入居者・ご家族のみならず、地域の拠点として地域住民の方々に対して何が出来るか、災害対策の具体的手法やフローチャートの策定が急がれます。

特別養護老人ホームにとって、中長期間の BCP（事業継続計画）は必須の課題です。



【理事長 北嶋勇志】

10 月 27 日(日)

すみれ台秋祭りに参加

細川副会長(左)・岡田会長(右)

<顎を引いて小鼻をつまむ>

鼻の中に出血部位があり、外鼻孔から出血するのが鼻出血です。

出血があっても、口腔からの出血や咯血、吐血などは鼻出血とは呼びません。

一般的に原因がはっきり分からないものと、はっきりしているものに分けます。



原因がはっきりしない「突発性鼻出血」

指で鼻腔をこすったり、ほじったりするなどの小さな外力を繰り返すことで、鼻腔内の粘膜や粘膜下の毛細血管に傷ができて出血するものと考えられています。

特に、鼻の穴から指先が届く付近にある「キーゼルバッハ部位」は血管が透けて見えるほど粘膜が薄く、わずかな傷でもすぐに出血します。



原因がはっきりしている「症候性鼻出血」

頭部や顔面の打撲による外傷性の出血が挙げられます。また、直接鼻を打撲しなくても、鼻出血をきたす場合もあります。



鼻汁よりサラサラ感があってなかなか止まらない鼻血

頭蓋底の骨折部から髄液が漏れている可能性があります。顔を殴られていないのに、目の周りが黒くなってパンダの目のようになる場合には、頭蓋底骨折が強く疑われます。

全身的な原因の鼻出血

白血病、血友病などの血液疾患や肝炎、肝硬変などの肝疾患が挙げられます。

薬剤性鼻出血

血液の凝固を抑える薬剤（ワーファリン、アスピリンなど）の内服薬があります。

脳梗塞や心臓病では、これらを内服する事が多いです。

女性の鼻出血

生理時に起こる鼻粘膜のうっ血や腫脹による「代償性出血」が原因です。

原因のはっきりしない突然の鼻出血

イスなどに座って顎を引き小鼻（鼻の膨らんでいる部分またはその少し上）をつまんで圧迫します。冷たいタオルで鼻を冷やすと、多くの場合は止まります。



上を向くと鼻血が喉に入り気持ちが悪くなることがあります。また横になると心臓と同じ高さになり出血が多くなるので避けてください。

ナトリウムとの付き合い方

管理栄養士 前田佐江子

1. ナトリウムは体内の水分量やミネラルバランスなどを調節しますが、摂り過ぎが心配されているミネラルです。

ナトリウムはほとんどが食塩として摂取されています。

2. 体内での働き

ナトリウムはカリウムとともにバランスをとって、細胞内外の水分量を調整し、体内に適切な水分を保持します。また、神経系を正常に維持したり、心臓や筋肉の機能を保つ働きもあります。

3. 欠乏症

血圧が低下して倦怠感や疲労感を起こします。筋力の低下やけいれん、食欲減退を起こすこともあります。一般的な食事をしていれば不足することはありませんが、大量の汗をかいたり、ひどい下痢をしたりすると、不足する場合があります。

4. 過剰症

むくみや腎機能障害を起こし、胃がんのリスクも高まります。長期的に続くと高血圧症を起こし、動脈硬化などの血管疾患にかかりやすくなります。



5. 摂り過ぎない食べ方

①薄味でもおいしい工夫

- ・ダシをきかせてうま味を味わいましょう。
- ・酢や柑桔類の酸味で薄味をカバーしましょう。
- ・新鮮な材料を使って素材の味をいかしましょう。



②カリウムをとる。

カリウムには余分なナトリウムの排泄を促す作用があります。カリウムを多く含むのは野菜や芋、大豆、果物などです。これらの食品をしっかり食べるとよいでしょう。



また、これらの食品には食物繊維も豊富に含まれ、食物繊維にはナトリウムを体外へ排出させる働きもあります。

③外食や中食を減らす

保存性を高める目的などから、一般的に、外食や中食では、塩分が多めです。外食が多い人ほどナトリウムの摂取量が多くなりやすいので、できるだけ利用する回数や機会を減らしたいものです。同様に冷凍食品などの加工食品についても塩分が高いものが多いので、利用を控えた方がよいでしょう。

10月・11月にご協力いただいたボランティアの皆様ご協力ありがとうございました。

(敬称は省略させていただきます)

- 折り紙 : 廣瀬公子
- 絵手紙 : 中川孝一
- ピアノ : 重松久代
- 書道 : 溝口佳子
- お誕生日会 : 北嶋庸子
- なかよしグループ : 西村敦子、山田明子、川原シナ子
平原多加子、竹下夏子、藤吉フジ子
仲村枝、常見好子
- お楽しみ会 : 中南正、中南ヒロ子、上谷トモ子
小倉時子、宇都宮望
- クラリネットオーケストラ : クラリネットプリモの皆様



お楽しみ会 10月18日(金)

アンコールは“川の流れるように”



※予定は変更になる場合があります。

宇都宮望さんは素敵なステージ衣装をまとわれ、観客のアンコールに応えられました。

◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆ ※11月の文化発表会をもって平成25年度の家族参加行事は終了いたしました。 ◆◆◆◆◆

研修報告

阪神ブロック職員交換研修制度(10月18日<金>)



さる10月18日(金)、阪神ブロック内の職員交換研修制度を利用して三田市にある特養[ゼフィール三田]さんから、お二方が当施設に来られました。宮武亮太さんは介護職経験8年目、同じく山内伸介さんも11年目のベテランですので、果たしてこちらとしては何か参考になるものを提供できたかどうかはわかりませんが、丸一日当施設のご入居者や施設の職員となごやかに交流していただきました。

お二方は人あたりが良く、この日開催されていた「お楽しみ会」(懐メロ歌謡ショーのこと)では、「自ら1曲歌わせてください!」との申し出がありました。お二方ともお若いのでエグザイルか、レミオロメンあたりの曲が披露されるのかと思いきや、是非ともご入居者に合わせたいとのことで、藤山一郎の“青い山脈”を選曲されました。おそらく介護の仕事をしていなければ、まず歌うことのない年齢でしょう。

研修の終わりに、お二方からレポートを頂きました。ゼフィール三田さんで取り組まれていること、また、お二方の目から見て当施設が工夫している点など挙げてもらい、同じ特養として大変参考になるものでした。中でもお二方が最も関心を寄せてくれたのが、当施設の音楽療法士の存在でした。来年4月に入職する新卒を含めて6名の音楽療法士が在籍するという事にまず大きく驚かれました。ちょうどこの日、音楽療法士による歌声広場があり、ほんの少しだけでしたが、普段行っている“療法”の片鱗をお見せすることができたかも知れません。

収穫行事② 秋編

秋の芋ほり (10月22日<火>)



10月22日(火)、セントリーア愛の郷では秋の芋ほりが実施されました。大小の色鮮やかな薩摩芋の収穫に、ご入居者の口々から「自分で掘るのはやっぱり楽しい!」との声が漏れていました。土に埋もれているため、掘り出すまでは大きさがわからないところに芋ほりの面白さがあるようです。

そもそも総力戦とは数字対数字の戦いである。数字で戦争をする感覚は生身の歩兵を戦闘の主体とする陸軍より航空機や艦艇といった動力兵器を駆使用する海軍の方が高感度であるのは当然であった。但し、感度が良かったのは《条約派》だけで、頑なに対米七割保有を主張して六割保有で条約を調印した浜口雄幸内閣を牽制したり、海軍仲間であるはずの条約派提督を追放して日本を対米英協調軍縮体制から離脱せしめた《艦隊派》のそれは恐ろしく鈍かった。

条約派は、『仮に開戦前の艦艇兵力が対米七割であれば、日米五角であろうと日本は米國に勝てない。総力戦になった場合、戦時中の建造能力も戦力に計算して考えなければならぬからだ。だから対米六割海軍に甘んじてワシントン及びロンドン軍縮体制を維持して米英と協調する外交に徹することが日本にとって最良の国防策だ』と説いた。一方の艦隊派は、『米國から戦争を仕掛けられた場合を想定しておく必要がある。それには対米七割海軍がどうしても必要だ』と説いた。

では一体七割なら安全とする根拠はどこにあったのだろう。時は日露戦争の頃、世界の海軍の間では一つの《常識》が存在した。『進攻艦隊が防守艦隊を破るためには一・五倍の戦力が必要』というもので、これを防守側から見れば進攻側の約六割七分となる。それを受ける格好で、一九〇七（明治四十）年、佐藤鉄太郎大佐が刊行した『帝國国防史論』の中で、「防守艦隊は想定敵國の七割以上の兵力を確保する必要がある」と記した。佐藤は中将で現役を去るが、海軍きっての海戦戦術家として、“日本のマハン”とも呼ばれた。

しかし、佐藤の防守艦隊七割論はまだ世界が総力戦を経験していない時代の考えであり、論の前提が、彼我ともに開戦前に用意した艦艇量のみ計算した内容になっていった。要するに総力戦の常道として、戦時中に続々と前線に投入される新造艦艇量まで見積もった安全保障論ではないことは明白だった。だが、奇妙なことに防守艦隊七割論は一定の科学的根拠の衣を纏ったままその後約三十五年間、海軍に巢食う生霊となった。

ところで、艦隊派の巢窟であった軍令部は日露戦争以来、幾度となく対米想定戦の骨子である《海戦要務令》を改正したが、そこでは新しく登場した航空機の活用を加筆したものの、航空機は潜水艦と合わせてあくまでも前衛補助兵力として米國艦隊との三割差を漸減させるものと規定され、主眼は日本近海まで誘き寄せての艦隊決戦思想に置かれていた。さらにこの思想を磨くものとして軍令部は『月月火水木金金』の言葉に代表される猛訓練による砲戦命中度の底上げと、敵艦艇の射程外から砲撃を可能にする巨艦建造に躍起となった。戦艦【大和】・【武蔵】はその延長線上に誕生した。

一方、既に戦艦不要の時代が到来し、海戦の主役が航空母艦を中核とした機動部隊による航空兵力になることを見抜いていた条約派の山本五十六や井上成美は、艦隊派の唱える戦艦群による重量級ボクサー同士のような撃ち合いは絶対起こりえないと主張した。特に井上は、開戦一年前に脱稿した『新軍備計画論』の中で、「巨額の金を食う戦艦など建造する必要なし。敵の戦艦など何程であろうと、我に十分な航空兵力あれば皆沈めることが出来る」と記している。悲しいかな史実は井上の指摘通り、二隻の巨艦は自慢の四十六センチ主砲の威力を見せつけることなく敵機の餌食となった。

長く艦隊派と条約派の実像に焦点を当ててきたが、最後に両派の性質を以下のように分類整理しておく。尚、航空主義は昭和十二年以降に登場

■条約派⇨対米協調派⇨海軍省畑⇨航空主義
主な提督 鈴木貫太郎（14）岡田啓介（15）

谷口尚真（19）山梨勝之進（25）
左近司政三（28）米内光政（29）
山本五十六（32）堀悌吉（32）
吉田善吾（32）井上成美（37）

□艦隊派⇨自主海軍派⇨軍令部畑⇨大艦巨砲主義
主な提督 伏見宮（16）加藤寛治（18）
山本英輔（24）末次信正（27）
中村良三（27）永野修身（28）
高橋三吉（29）南雲忠一（36）

*（ ）内は海軍兵学校入学期を示す。

【海軍】（※陸軍は陸軍省と参謀本部にわかれる）
【軍政機関】海軍省（海軍大臣―海軍次官）
【軍令機関】軍令部（軍令部総長―軍令部次長）

ところで、軍隊と言えども平時は会社と同様の組織である。社長たる海軍大臣（陸軍は陸軍大臣）は全海軍将校の人事権を持ち、制服組ながら閣僚の一員であった。一方、軍隊が本来持っている戦闘集団の性格を組織化したのが軍令部で、軍令部総長（陸軍は参謀総長）は大元帥たる天皇の持つ統帥権を代行したので軍令機関は統帥部とも呼ばれた。統帥部の職務は戦時に運用する作戦計画を立て、それに基づいた軍備計画を立案した。へ続く

※上段の隠れ写真は真珠湾攻撃にむかう日本の機動部隊



やまもと いそろく 山本五十六



いのがう えんりゆう 井上成美

~~~~無用になるもの~~~~

時代にもてはやされた花形が次の時代には全くの無用のものになることがあります。少し前ではポケベル、そしてスマホの登場で、もしかしたら携帯電話もこの世から消失する時代が来るのかも知れません。



苦情相談窓口の注意事項  
苦情相談は苦情受付担当者を窓口として苦情相談受付ボックスにて受け付けております。ユニットの介護・看護職員でなく、苦情受付担当者にお申し出下さいますようお願い申し上げます。ご協力の程よろしくお願い致します。